

1. 研究課題名

当センターにおける妊娠 27 週未満の分娩症例 128 症例の周産期予後

2. 試料・情報

(1) 利用目的

妊娠 27 週未満で出生した児の予後に分娩様式が及ぼす影響を検討し、当センターの早産管理の妥当性を検証します。また、脳合併症を発症した 17 症例について発症のリスク因子を検討します。研究期間は承認日から 2025 年 7 月末までです。

(2) 利用項目、提供方法

対象は 2015 年 1 月から 2023 年 12 月の 9 年間に、当センターで妊娠 22 週 0 日から妊娠 26 週 6 日までに分娩となった 128 症例です。多胎・胎児奇形・胎児染色体異常症例・子宮内胎児死亡症例は除外いたします。診療録より分娩様式、帝王切開分娩の適応、児の生命予後、破水・羊水過少の有無、脳合併症を後方視的に調査します。調査項目を妊娠 25 週以降と妊娠 25 週未満の 2 群に分けて、Fisher の正確確率検定を用いて解析します。利用は承認日から 2025 年 7 月末までです。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 産婦人科 大谷萌絵（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：産婦人科 大谷萌絵、笠井靖代、関章秀